

「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書

※整理番号：

企画名
二畳の茶室 2016
実施日
平成 28 年 11 月 5 日 (土) ~ 平成 28 年 11 月 6 日 (日)
実施場所
中央図書館周辺
企画代表者の氏名, 所属
氏名： 奥田美香子 所属：工学研究科建築学専攻建築設計学研究室
構成員の氏名
津田康平、竹原溪吾、山本健太郎、田村将太、 小林亮平、原田慎平、園田洋平、天野真登、 佐々木優、前田凌児、高岸英子
指導的立場の教員氏名
岡河貢准教授
企画の目的及び内容
講義で習得した意匠・環境・構造への理解を活かした設計・施工を学生達で行うことを目的とします。また、作品を大学祭で展示し実際に茶室として利用することによって、建築の最小単位とも言える空間を多くの人に体験していただくことを通して、建築の魅力や可能性を伝えます。
来場者数
茶会参加者：100 名 茶室見学のみ：50 名
主催・後援団体（外部のコンテスト等に参加する場合は、そのコンテストの規模）
広島大学工学研究科建築学専攻 広島大学茶道研究会 広島大学裏千家茶道部
活動の内容（準備、広報活動、当日の様子等）
木材はホームセンターナフコや西条木材で調達しましたが、本年はアルミ合成板など特殊な材料を多く使用したため、インターネットからの発注も行いました。加工については、アルミなど加工が困難なものはものづくり工房の技術員の方にご協力いただきました。施工は建築学専攻の学生のみで、安全に注意しながら進めました。 広報活動としては、ポスターを制作し学内に掲示しましたが、学外への案内や SNS の活用ができなかったことは反省点としてあげられます。 大学祭 1 日目は広島大学茶道研究会、2 日目は広島大学裏千家茶道部の方々にお茶を点ていただき、本年も多くの方に茶室の空間とお茶を楽しんでもらうことができました。

(裏面に続く)

「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書 (裏面)

アンケートの結果 (来場者にアンケートを実施した場合のみ)

アンケートは実施せず

成果・課題

今年の「二畳の茶室」は、茶室に入るまでの「露地」をしっかりと作り上げることで、和室でお茶を飲むという体験をより魅力的なものにしようと試みました。そして、茶室のある中央図書館前に期間限定で現れる茶室としての在り方も考え、周囲の風景を反射するアルミを素材として選択しました。また、ライノセラスという 3D ソフトを利用することによって、多くのデザインのパターンの検討を行いました。全体を通して、模型ではなく原寸サイズで検討を行っていったことで、細部までこだわった茶室を施工することができました。

本年の見学者や茶道研究会や茶道部の方からの感想としては、にじり口や壁によって風がしっかりと防げていること、内部が落ち着いた仕上がりになっていることが良いということがありました。展示中は雨が降らなかったため雨水を防ぐことができたかは不明ですが、雨が内部に入り込まないようにすること、また、室内でお湯の温度を保つことができるようコードを通すことも課題としてあげられました。

実施風景 (写真)



【提出方法】指定された期限までに本紙を作成の上、電子ファイルで提出してください。
E-mail でも受け付けます。

【提出先】工学部学生支援室 (kou-gaku-gakubu@office.hiroshima-u.ac.jp)